



学びを止めない

校長 作田潤一

コロナ対応も3年目に入り、「With コロナ」とよばれる社会の状況において、ゼロか百かで考えるのではなく、感染拡大のリスクを最小限にしつつ、人やモノ（ICT等）を積極的に活用した学びの保障・充実を推進していく必要があります。今年の体育大会は、人数を制限をした校内での参観と家庭へのライブ配信のハイブリット方式を試みたところです。2年ぶりに保護者の声援を間近に感じて、生徒は素晴らしい体育大会を作りあげてくれました。

一人1台のタブレットは、学習の個別化には有効な面もありますが、長時間使用の健康への影響が危惧される報道もあります。協働的な学びには対面式のアナログ活動が効果的な場合もあります。柔軟な工夫した取組で、学校ならではの学びを最大限確保したいと考え、講話や体験活動等も行っているところです。

唐宋八大家の一人である蘇老泉は、「功の成は、成るの日に成るに非ず」（事が成功するのは、その日に突然成功するのではない。必ず、それに先だって成功をもたらす原因があるのだ）との言葉を残しています。

基本的な生活態度・習慣を基盤にして、生徒が夢を抱くきっかけになる出会いや夢を実現するための表現力・学力を育成する取組を、展望をもって計画的に進める御船中 For the future プランを実践しています。年5回の外部講師による全校生徒への講話、ふるさとの人々の生き方に学ぶ総合的な学習の時間、壁新聞コンクール、基礎学力オリンピックなど、コロナ禍の学びを充実して社会を担う人づくりに努めます。

体育大会

5月21日（土）に体育大会が行われました。今年「躍進～自分という名の壁を越えろ～」という大会テーマのもと、これまで以上の体育大会をつくりあげるために、全校生徒が一丸となって練習に取り組みました。また、3年生にとっては最後の体育大会ということもあって、各団3年生を中心に日々の練習から精一杯取り組んでいる様子が見られました。当日はどの競技にも必死になって取り組む姿、それを一生懸命に応援する姿が見られ、生徒の体育大会にける強い思いを感じました。白団団長からは、「準優勝という悔しい結果でしたが、白団のみんなと笑顔で体育大会を終えられたことが最高の思い出です。」という感想が聞かれました。体育大会後の生徒の達成感溢れる表情に、昨年以上の感動を覚えました。



全国善行表彰（男子バスケットボール部）

男子バスケットボール部は平成27年からシンボルロードの清掃活動に取り組んでいます。地域の環境美化に奉仕し、明るく住みよい町づくりに尽くしてきたこの取組が評価され、全国団体である一般社団法人日本善行会から表彰されました。明治神宮での表彰式は中止となりましたが、6月1日に藤木町長に表彰を受けた報告をしました。主将の松本顕太朗くんは「先輩から受け継いだ伝統を後輩にもしっかりと受け渡していきたい」と決意していました。



観劇会

5月26日（木）に観劇会が行われました。実際に劇団の方をお招きし、朗読劇や演劇を見せていただきました。演目は、宮沢賢治作の「銀河鉄道の夜」。二人の男の子が“本当の幸せ”を求めて旅する物語です。演劇を生で見ることが初めての生徒も多く、俳優さんの声や演技の迫力に感動している様子が見られました。

さらに、希望した7人の3年生は、朗読劇や演劇に参加しました。発声やイントネーション等の指導を受け、「表現する」ということの難しさや楽しさを実感できた



演技指導を受けました

のではないかと思います。この経験をぜひ、学習成果発表会等に活かし、今後も素晴らしい活躍をすると共に、より良い御船中学校にしていってくださることでしょう。

夢輝き！教育講演会

5月31日（火）に夢輝き！教育講演会を開催しました。講師としてゴールボールの元日本代表でロンドンパラリンピック金メダル、東京パラリンピック銅メダルの浦田理恵さんをお招き



金メダルをかけてもらいました

しました。夢の実現のために大切なこととして「周りの人に『ありがとう』と言えることが大切です。周りの応援と『ありがとう』が重なると夢は叶います」、「チャレンジの先にあるのは『成功と失敗』ではなく、『成功と成長』です」、「夢を叶えるっておきの方法は『凡事徹底』です」とたくさんのお話を聞きました。2年生の生徒は「話を聞いて感動で泣きそうになりました。そして、勇気が出ました。」と感想を述べていました。